

<ジュエリーとファッション>

この双方、近年急速に変化している。人は何事も楽を好む。着るのも動くのも、買うのも楽。良いことづくめ、ばかりではない。全てが雑になる。動きも言葉も粗くなり物事を雑に扱い大切にしなくなる。最近では言葉など男女差が少なくなった人たちもいる。

ジュエリーはファッションの上に成り立つのでカジュアル化は悪いことではない。これらは女性の生き方の反映であり双方は調和しなければいけない。ただ両方がカジュアルに過ぎると全体の印象はトーンダウンし、ともすればだらしなさに繋がりがかねない。かく言うシマダも日頃労働者でもあるのでお手頃なTシャツとパンツで過ごすことも多い。外出はこれに上着とジュエリーをプラス。ここでジュエリーが魔力を放つ。背筋も伸び安心して自信が持てる。但し存在感と輝きを与えてくれないジュエリーもあるので注意は必要。“お洒落は忍耐”と言った友人がいる。楽に陥らず時にはそんな心意気を持って身にまとうのも良いだろう。ちょっとした緊張が言葉や所作を美しくするのかもしれない。

<おしゃれ上級者>

“Advanced Style~ニューヨークでみつけた上級者のお洒落スナップ”という本。杖を片手に個性的なファッションで写真に納まっている高齢女性。明るく今の自分を存分に楽しんでいる。余りにも奇抜、独善的

ファッションもあり驚くけれどそこは N.Y.。確信犯的な自信がみなぎっている。ここまでのファッションをするのもエネルギーが必要と思うが、反対にこれを体現するのにエネルギーを出し、そんな自分を見てまた元気になっていくのかもしれない。歳を重ねるとはこんなにも素敵なことだったのだ！年と共に静かに落ち着いた老人になるのも



一つの生き方、周囲におおらかな活気を振りまく老人がいるのも楽しそう。

<亜熱帯と寒冷地を暮らす>

ここ数年の日本の気候は狂気じみている。甲府にいと尚のことそう思うのか。周囲を白い山に囲まれた甲府盆地は冷蔵庫状態。今年の甲府の大雪は、200年来というから誰も経験者がいないことになる。氷の穂先で刺されているような痛みを伴う寒さ。その雪も消えないうちに夏日を迎えている。穏やかな時はほんの数日。すぐ次の季節へと移り、脅迫し威嚇するような太陽が焼け焦げる矢じりを放つような時が来る。地球の気候は万年単位で繰り返されるといって今どちらに向かっているのかも判明しがたい両極に暮らす。極端な温度は知力、体力を奪う。そうやって今を試されているのか。ならば負けてはいられない。軽く適応しましょう、とここまできると適応するための強がりではない。でも、だからこそ、緑の木立を通る風と揺らめく美しさ、そして果物と野菜の優しい味わいがあったのです！



窓の外は雪だけ



春になりました
スノーボール (大手鞠)



マロニエと

<特別企画>

オニキス・SV925 / リング・ペンダントネックレス (両面仕様)

セミオーダー / ダイヤ数・サイズ・ネックレス長さ etc



～春の甲府新作展～ 5/15 (木) ～5/18 (日) 10:00～18:00 ギャラリーBIZ